積み重ねる訓練、地域の安全を守るために

消防団の活動を支えているのは、日々の訓練の積み重ねです。新入団員基礎教育訓練（写真①）で基本を学び、積載車運用訓練（写真②）では理論と実践を身につけます。遠距離送水訓練（写真③）を通して仲間との連携の大切さを学び、上級救命再講習（写真④）や夢の島消防訓練場（写真⑤）における実災害を想定した訓練等を重ねることで、緊急時にも落ち着いて行動できる力が養われます。地域の安全を守る使命のもと、団員一人ひとりが真剣に取り組んでいます。地域に貢献したいという思いをお持ちの方は、ぜひ消防団の扉をたたいてみてください。

①基礎教育訓練
はじめての放水で水の反動を実感

②積載車運用訓練
圧力低下の要因など理論も学びます

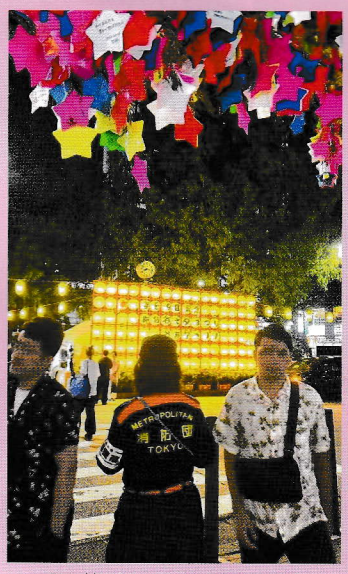
③遠距離送水訓練

④上級救命再講習

⑤夢の島消防訓練場

地域のお祭り

毎年、各地域で開催されるお祭りに於いて、消防団員が警戒活動にあたっています。規模の大きな行事では、分団に配備された無線機やAEDを携行し、防火に加え応急救護も視野に入れて巡回を実施しています。地域の皆さまが安心してお祭りを楽しめるよう、今後も安全確保に努めてまいります。



阿佐谷七夕まつり

東京高円寺阿波おどり

松ノ木納涼祭

文化財防火デー消防演習

文化財防火デーは、昭和２４年の法隆寺金堂の火災を教訓として制定されました。これに因んで、毎年１月に大宮八幡宮、妙法寺で消防演習が行われます。本年１月21日（水）、妙法寺にて杉並消防署指揮の下、自衛消防隊、町会防災会と共に杉並消防団（第２分団）も演習に参加しました。

妙法寺では、初詣、節分会、千日紅祭り、御会式等に於いて年間を通じて消防団が警戒支援を行なっています。

消防演習

初詣警戒

節分会

どんど焼き警戒

今年も各地で、正月明けの伝統行事である「どんど焼き」が行なわれました。

杉並消防団でも、可搬ポンプ積載車を準備して参集し、不測の事態に備えました。

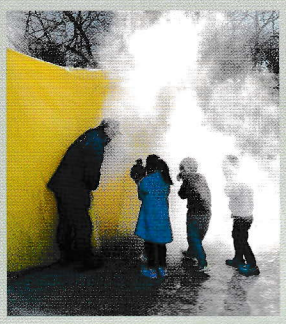
これまで、幸いにも重大な事故は起こっていないようですが、空気が乾燥している時期であり油断は禁物です。

最後の放水の時まで、緊張感を持って警戒に当たりました。

地域の訓練

各分団は、年間を通じて区立小中学校の震災救援所訓練や各地域で行われる様々な防災訓練に消防署と共に協力しています。

主な内容は、児童・生徒の皆さんや地域の方々に AED や三角巾を使う応急救護法を指導したり、訓練用消火器で消火器の使用手順を説明したり、煙体験ハウスでは火事の際の避難要領を体験していただいています。



煙が充満する環境を体験

消火器の扱いを学びます

AED を用いた心肺蘇生法